

BINGO 街の人の人

「備後の名刺代わりの商品を広めていきたい」と、三年前から福山の名産「保命酒」を使った菓子作りに取り組んでいます。これまで開発したのは、ジェラートやアイスキャンドイー、プリンなど。

「東京などへ出張する際、福山の手土産としてもみじ饅頭などを使う人が多かった。だが、それでは福山をアピールできない」との声が多く、福山を代表する土産物、お遣い物作りに取り組んでいます。中でも昨年発売した保命酒羊羹ようかんは茶菓子を利用さ

■中島商店
専務 中島基晴さん ■



福山の名刺がわりに 保命酒菓子を開発

利益の一部はスポーツ振興に当て、活性化を目指す。

多くの人に知つてもらいたい」との声があつた。先月には、保命酒を使ったアマ酒もラインナップに加わった。商品を入れる巾着袋に、備後絣かおりを使つた。「日本三大絣の一つだが現在は衰退している。保命酒と同様、復活を願つている」と地元だけでなく全国に福山をアピールして

砂糖や小麦粉の食品卸などを営む。福山を代表する菓子を作りたいと、三年前から保命酒を使った菓子を地元製菓業者と共に開発。現在ではジェラートやプリン、あま酒など、11種類を販売している。

福山市御船町1-13-5
☎ 084-922-4870

り組み始めた。

取り引きのある製菓業者と共に開発し、製造を依頼している。地元の製菓業者の多くは後継者難や大手企業の進出など、中小・零細企業固有の問題を抱えているが、「新しいものを企画して作っていく中で、お互い刺激合い、問題解決につなげていきたい」と地域の菓子業界全体の活性化を目指す。

板とフル板を福山市教育委員会に寄付した。また外箱や包装のラベル張りなどを福祉作業所に依頼している。「みんなが潤うシステムを構築したい。社会に貢献できるのが理想」と循環型ビジネスモデルの確立を図る。

市鞆の浦で江戸時代から続いている伝統の产品。幕末には日本全国で愛飲され、来航したペリー提督も飲んだという史実もある。「ロマンと歴史を語れる素材」と分析。保命酒と酒かすを製菓材料として位置づけた。商品構成は高級菓子ではなく、大衆菓子に特化した。「福山で生まれ育つても、保命酒を飲んだことのない若い人が多い。そこで菓子を通して保命酒の味を多くの人に知つてもらいたい」との声があつた。先月には、保命酒を使ったアマ酒もラインナップに加わった。商品を入れる巾着袋に、備後絣かおりを使つた。「日本三大絣の一つだが現在は衰退している。保命酒と同様、復活を願つている」と地元だけでなく全国に福山をアピールして